

---

# whiteChristmas

つなまよ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

WhiteChristmas

### 【Nコード】

N8159Z

### 【作者名】

つなまよ

### 【あらすじ】

クリスマスネタ。受験生のクリスマスってこんな感じなのかなって。ドアの前に立っていたのは？

朝。布団から抜け出してカーテンを開け放つ。この冬一番の寒さだ。外は真っ白な雪に覆われていた。枕元に目をやった。布団の隅々まで目を走らせるけれど、なにも置かれてはいなかった。

- - -今日はクリスマス。

さすがに15歳の私の所までは、サンタさんは来てくれなかったようだ。

もう一度窓の外を確認する。やはり真っ白。ホワイトクリスマスだ。クリスマスと言えば雪のイメージだけど、意外とこの時期に雪は珍しい。こんなに真っ白なクリスマスは生まれて初めてだった。

ホワイトクリスマス、というとロマンチックなイメージで、小さい頃はずっと憧れだった。が、実際になってみても「雪って……。」と思うのみでそんなに嬉しくない。そしてやはり雪の日の景色なだけ取り分け綺麗というわけでもない。なんとというか微妙だった。

クリスマスプレゼントも、欲しいものは何も貰えていない。

受験生だから、と参考書やらワークやらばかりを贈られる。家にはクリスマスツリーすら飾られていない。いつもは楽しみなクリスマスが、今年はあまり楽しくなかった。

ぴんぱーん。

急に玄関のチャイムが鳴った。奇跡的に着替えが終わっていたので  
パタパタと玄関に走っていく。ドアを開けると立っていたのは……。

クリスマス。ホワイトクリスマス。

やっぱりロマンチックなのかもしれない。

サンタさんは、いるのかもしれない。

(後書き)

ボクは中二なので気楽だったんですけどねw  
w

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8159z/>

---

whiteChristmas

2011年12月25日23時51分発行